

明昭 感染対策委員会 冬号

だより

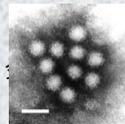
H31年1月

ノロウイルスとは？

ノロウイルスとは、あらゆる年齢の人に急性胃腸炎を起こし、ウイルス量が100個以下のごく少量でも感染するほど、感染力の強いウイルスです。

一年を通じて発生しますが、特に冬場（11月～2月）に流行します。ノロウイルスに感染すると、概ね1～2日の潜伏期間の後、下痢、嘔吐、熱などの症状が見られます。

通常発症から1～2日で回復しますが、抵抗力の弱い乳幼児や高齢者では、重症化したり、吐物を気管に詰まらせたりすることもありますので注意が必要です。



ノロウイルスの画像
※左下のバーのサイズは「50nm」

症状はウイルスを飲み込んでから24～48時間で始まることが多いですが、12時間で発症することもあります。ノロウイルスに感染した人の感染症状は発症した時点から始まり、回復後少なくとも3日間続きます。回復後2週間も感染症状を示す人もいますので、ノロウイルス感染症から快復したあとでも手洗いなどの清潔が極めて大切です。



ノロウイルス感染症の経過

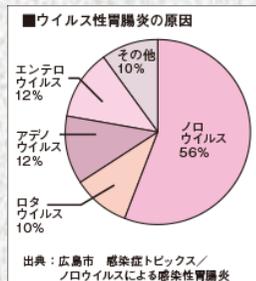


ノロウイルスとウイルス性胃腸炎の違いとは？

ウイルス性胃腸炎とは、その名の通りウイルスが原因によって引き起こされる胃腸炎の総称を言います。

ウイルス性胃腸炎は感染症胃腸炎の中の一つで、感染症胃腸炎には細菌性胃腸炎とウイルス性胃腸炎があり、どちらも発症から短期間で症状が悪化することから急性胃腸炎とも言われています。

11月から3月の冬になると流行するノロウイルスは、ウイルス性胃腸炎の一種です。この為、ウイルス性胃腸炎とノロウイルスは種類で区別するものではなく、ウイルス性胃腸炎の中の一つとしてノロウイルスがあるという考えが正しいと言えます。



ノロウイルスを予防するためには

ノロウイルス感染症を予防するためには、下記の対策を実施します。

- ①手洗いを頻回に行う。
(特にトイレの後、オムツ交換の後、食事前や食事をやる前)
- ②果物と野菜は注意深く洗い、牡蠣は食べる前に蒸す。
- ③汚染した表面は、漂白剤を含んだ家庭用洗剤で迅速かつ徹底的に処置する。
- ④汚染した衣類やリネンはすぐに取り除き、熱湯と石鹸で洗う。
- ⑤トイレの嘔吐物や便は洗い流して、周囲を清潔にしておく。
- ⑥ノロウイルスに感染した人は、症状が見られる間と回復後3日間は調理をしない。
- ⑦患者は症状が消失しても48時間は職場や学校に戻らない。その後戻った場合には手洗いを行う。

医療施設や介護施設で集団感染が発生した場合は下記の対策を実施します。

- ①摂食予防策を実施します。
- ②同じスタッフが感染区域と非感染区域を同時に担当しないようにします。
- ③症状がある人と健康な人は別のトイレを使用します。
- ④面会時に手洗いを啓発し、摂食予防策を監督します。
- ⑤感染が見られるフロアへ新しく入居させたり、患者を別のフロアへ移動させないようにします。



消毒には「次亜塩素酸ナトリウム」を使用しましょう！

一般的な感染症対策としてアルコールが用いられることがありますが、ノロウイルスを完全に失活化するためには、「次亜塩素酸ナトリウム」が有効です。

豆知識 ～ノロウイルスの名前の由来～

実はのろくないノロウイルス

ノロウイルスは感染する速度がノロいからノロウイルスというのだろうかと思うことは間違ってます。ものすごく伝播が早いので、「ハヤウイルス」と命名するのが適切かもしれません。

ノロウイルスの名前の由来ですが、このウイルスは米国オハイオ州ノーウオークの小学校で集団感染した急性胃腸炎の患者さんの便から検出されたことに由来して「ノーウオークウイルス」と呼ばれてきました。また電子顕微鏡で観察される形態に由来して「小型球形ウイルス」とも呼ばれていました。

しかし、2002年の夏、国際ウイルス命名委員会によって「ノロウイルス」という正式名称が決定され、世界で統一されて用いられるようになったのです。

